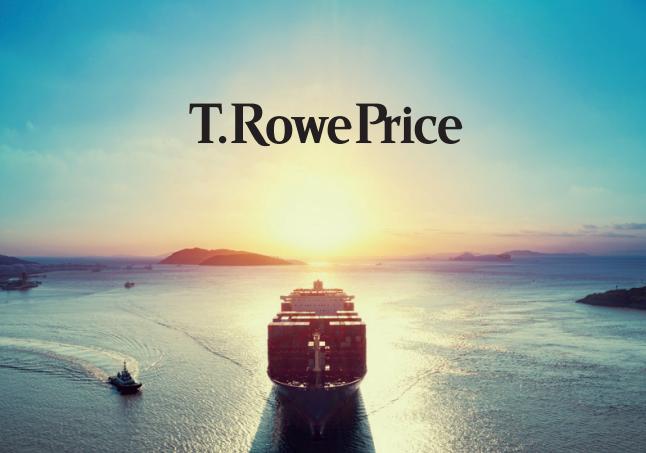


交付運用報告書

T.RowePrice



ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

- Aコース (資産成長型・為替ヘッジあり)
- Bコース (資産成長型・為替ヘッジなし)
- Cコース (分配重視型・為替ヘッジあり)
- Dコース (分配重視型・為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

< Aコース >

第13期末 (2025年9月16日)		第13期	
基準価額	18,033円	騰落率	12.4%
純資産総額	71,526百万円	分配金合計	0円

< Bコース >

第13期末 (2025年9月16日)		第13期	
基準価額	29,064円	騰落率	14.9%
純資産総額	294,934百万円	分配金合計	0円

< Cコース >

第25期末 (2025年9月16日)		第24期～第25期	
基準価額	13,147円	騰落率	12.2%
純資産総額	14,328百万円	分配金合計	390円

< Dコース >

第25期末 (2025年9月16日)		第24期～第25期	
基準価額	20,650円	騰落率	14.7%
純資産総額	50,914百万円	分配金合計	600円

(注) 謄落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しており、小数点以下第2位を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。
- 当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ティー・ロウ・プライス

Aコース

第13期（決算日 2025年9月16日）

Bコース

第24期（決算日 2025年6月16日）

Cコース

第25期（決算日 2025年9月16日）

作成対象期間：2025年3月18日～2025年9月16日

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）」「ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）」「ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）」「ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）」は、このたび上記のとおり決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式（エマージング・マーケットも含みます。）の中で、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資を行います。

当作成期もこれに沿った運用を行ってまいりましたので、その運用状況等について、ご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



T.RowePrice

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキヨウサウスタワー

ホームページ troweprice.co.jp

照会先 電話番号 03-6758-3840

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

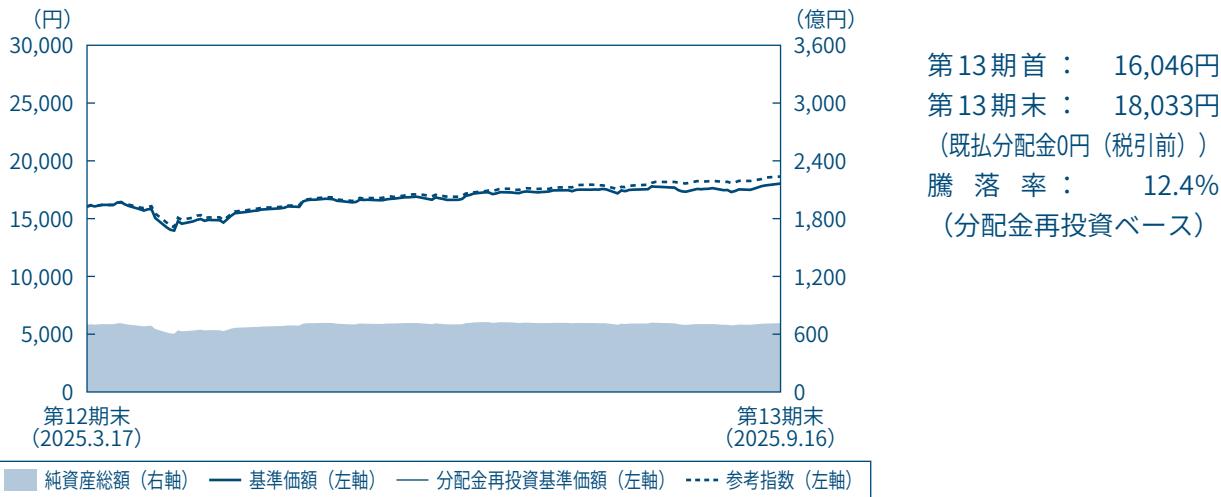
ス・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法>
上記ホームページアドレスにアクセス → 「ファンド情報」を選択 → 「ファンド一覧／基準価額一覧」を選択 → 「ファンド一覧」表内の当ファンド名を選択 → レポート・報告書から「運用報告書（全体版）」のリンクを選択

1.運用経過

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

■基準価額等の推移（2025年3月18日～2025年9月16日）



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指數は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 謄落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。
- (注5) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指數は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標として記載しています。

■基準価額の主な変動要因

（主なプラス要因）

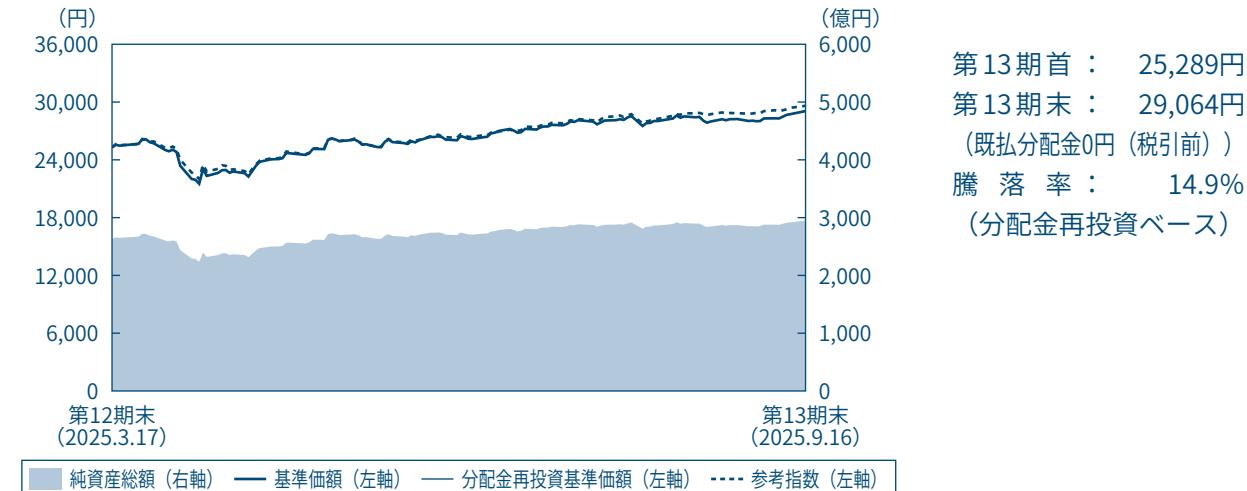
- ・エヌビディア、マイクロソフト（ともに米国、情報技術）、台湾セミコンダクター（台湾、情報技術）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。
- ・期を通じて、株式市場全般が上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ユナイテッドヘルス・グループ、イーライリリー、レブリジョン（いずれも米国、ヘルスケア）などの組入銘柄の株価が下落したこと。
- ・為替ヘッジ・コストがマイナスに影響したこと。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

■基準価額等の推移（2025年3月18日～2025年9月16日）



第13期首： 25,289円
 第13期末： 29,064円
 (既払分配金0円（税引前）)
 謄落率： 14.9%
 (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

（主なプラス要因）

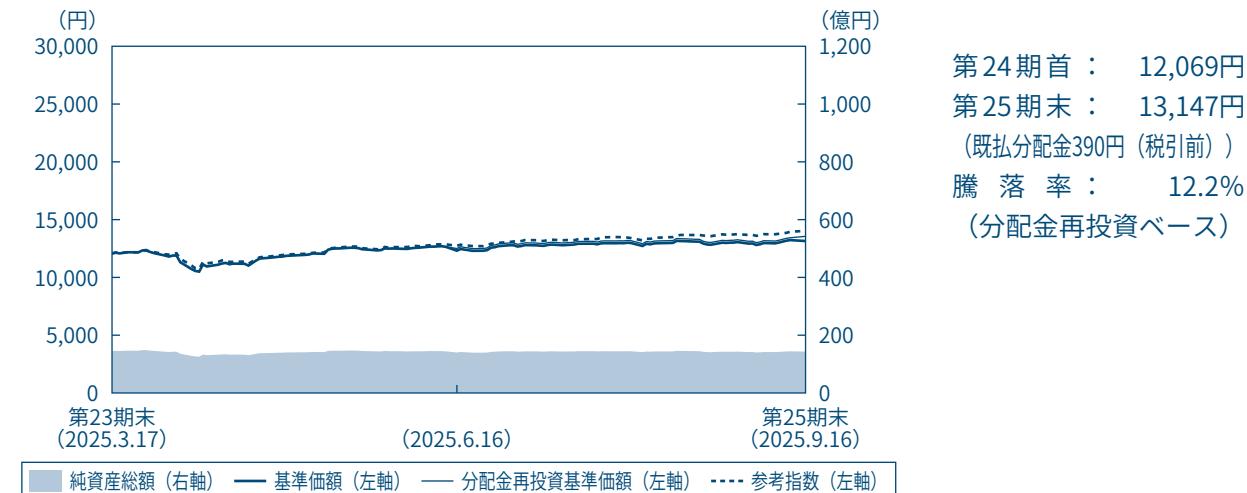
- ・エヌビディア、マイクロソフト（ともに米国、情報技術）、台湾セミコンダクター（台湾、情報技術）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。
- ・期を通じて、株式市場全般が上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ユナイテッドヘルス・グループ、イーライリリー、レブリジョン（いずれも米国、ヘルスケア）などの組入銘柄の株価が下落したこと。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

■基準価額等の推移（2025年3月18日～2025年9月16日）



（注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

（注4）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

（注5）当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■基準価額の主な変動要因

（主なプラス要因）

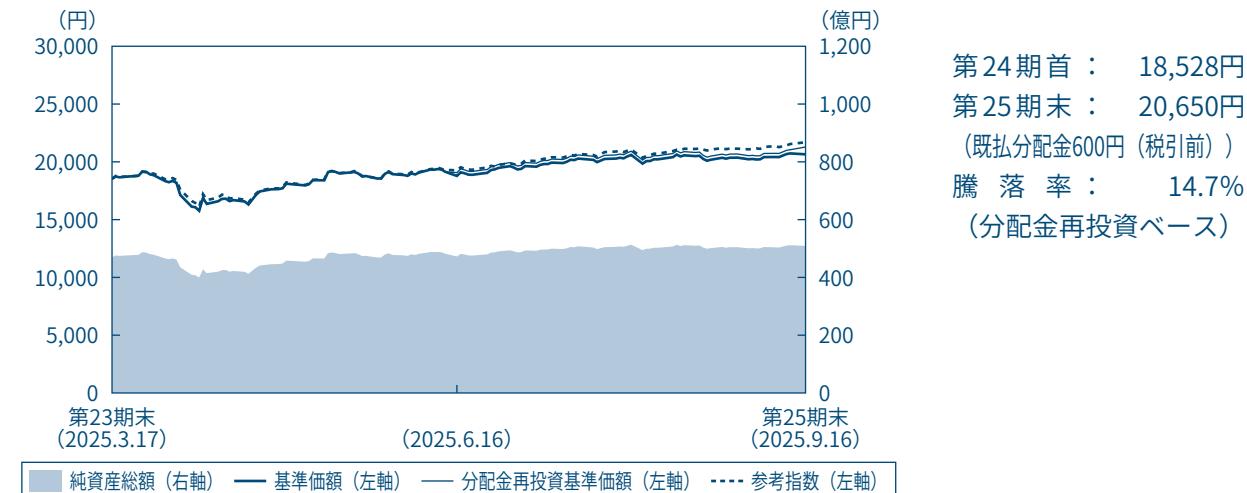
- ・エヌビディア、マイクロソフト（ともに米国、情報技術）、台湾セミコンダクター（台湾、情報技術）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。
- ・期を通じて、株式市場全般が上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・ユナイテッドヘルス・グループ、イーライリリー、レブリジョン（いずれも米国、ヘルスケア）などの組入銘柄の株価が下落したこと。
- ・為替ヘッジ・コストがマイナスに影響したこと。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

■基準価額等の推移（2025年3月18日～2025年9月16日）



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 謄落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。
- (注5) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

■基準価額の主な変動要因

(主なプラス要因)

- ・エヌビディア、マイクロソフト（ともに米国、情報技術）、台湾セミコンダクター（台湾、情報技術）などの組入銘柄の株価が上昇したこと。
- ・期を通じて、株式市場全般が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユナイテッドヘルス・グループ、イーライリリー、レブリジョン（いずれも米国、ヘルスケア）などの組入銘柄の株価が下落したこと。

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	(2025年3月18日 ～2025年9月16日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	141円	0.844%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,766円です。 投信会社分は、ファンド運用の指図等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(投信会社)	(69)	(0.414)		
(販売会社)	(69)	(0.414)		
(受託銀行)	(3)	(0.017)		
(b) 売買委託手数料	19	0.112	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料	
(株式)	(19)	(0.111)		
(投資信託証券)	(0)	(0.000)		
(c) その他費用	13	0.079	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数	
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(その他)	(12)	(0.071)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用や有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成にかかる費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等	
合計	173	1.035		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

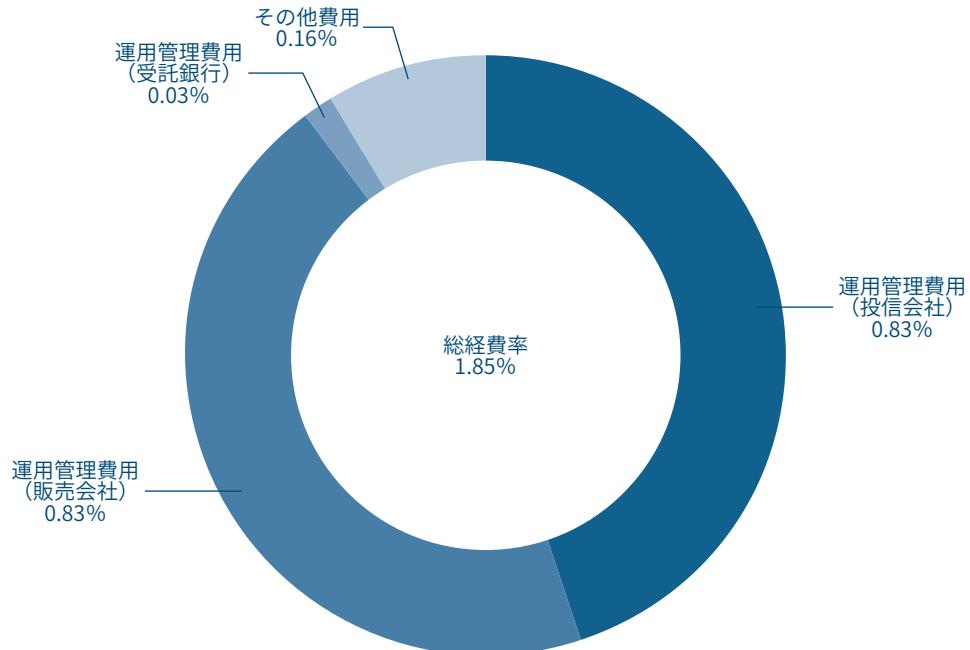
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	(2025年3月18日 ～2025年9月16日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	223円	0.844%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は26,462円です。 投信会社分は、ファンド運用の指図等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(投信会社)	(109)	(0.414)		
(販売会社)	(109)	(0.414)		
(受託銀行)	(4)	(0.017)		
(b) 売買委託手数料	30	0.113	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料	
(株式)	(30)	(0.112)		
(投資信託証券)	(0)	(0.000)		
(c) その他費用	21	0.079	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数	
(保管費用)	(2)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(その他)	(19)	(0.072)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用や有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成にかかる費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等	
合計	274	1.036		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

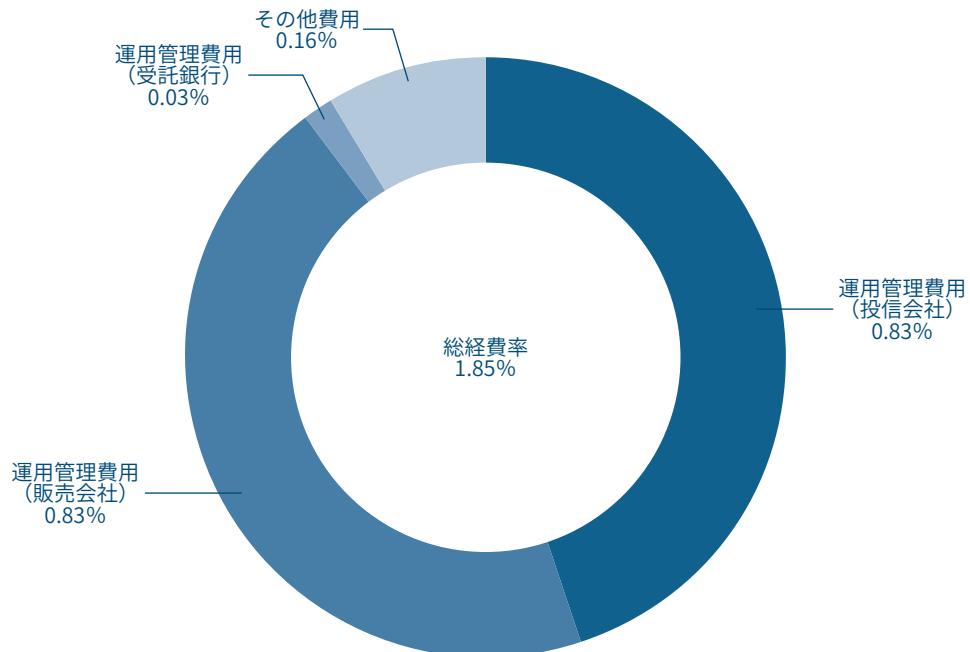
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

■1万口当たりの費用明細

項目	第24期～第25期		項目の概要	
	(2025年3月18日～2025年9月16日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬	106円	0.844%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,503円です。 投信会社分は、ファンド運用の指図等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(投信会社)	(52)	(0.414)		
(販売会社)	(52)	(0.414)		
(受託銀行)	(2)	(0.017)		
(b) 売買委託手数料	14	0.111	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料	
(株式)	(14)	(0.111)		
(投資信託証券)	(0)	(0.000)		
(c) その他費用	10	0.082	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用	
(保管費用)	(1)	(0.008)		
(その他)	(10)	(0.074)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用や有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成にかかる費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等	
合計	130	1.037		

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

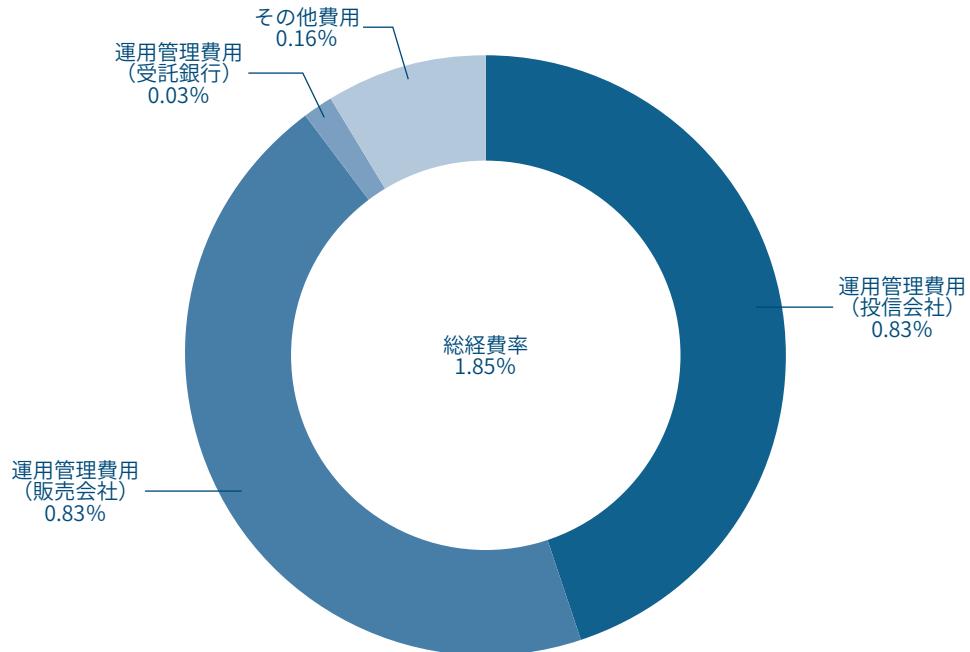
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり） (参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

■1万口当たりの費用明細

項目	第24期～第25期 (2025年3月18日 ～2025年9月16日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	162円	0.844%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は19,229円です。 投信会社分は、ファンド運用の指図等の対価 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(80)	(0.414)	
(販売会社)	(80)	(0.414)	
(受託銀行)	(3)	(0.017)	
(b) 売買委託手数料	22	0.112	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(22)	(0.112)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	15	0.080	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(14)	(0.072)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用や有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成にかかる費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用、その他信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	199	1.036	

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

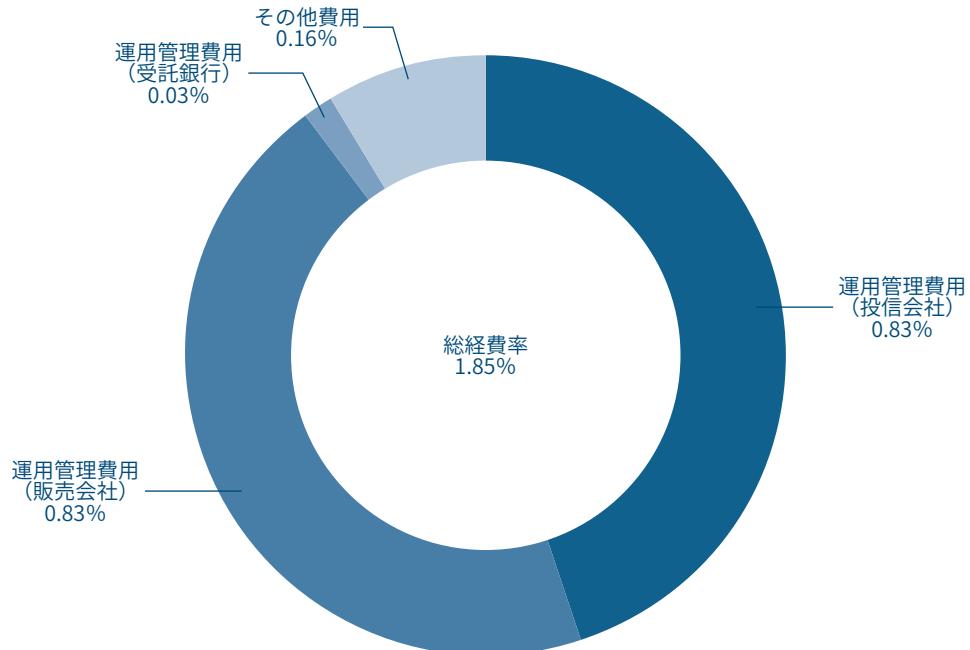
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

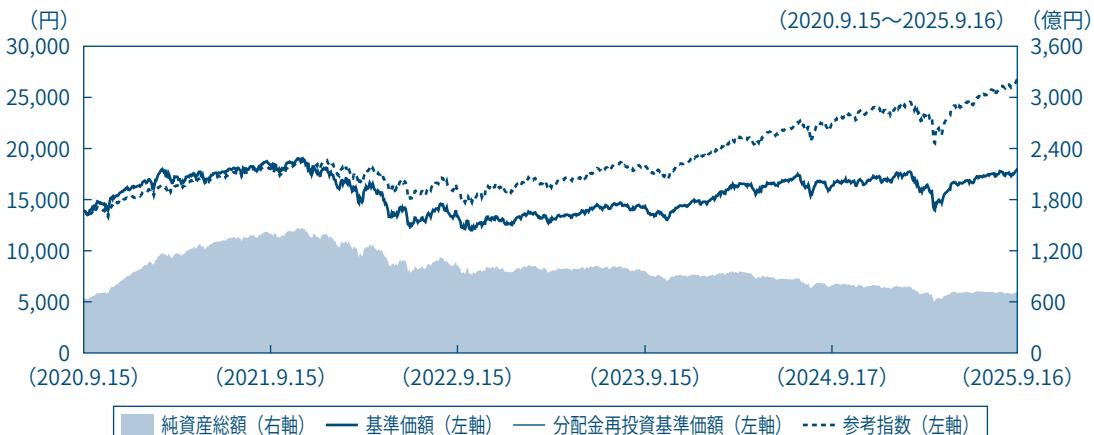
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

■最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額および参考指標は、2020年9月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

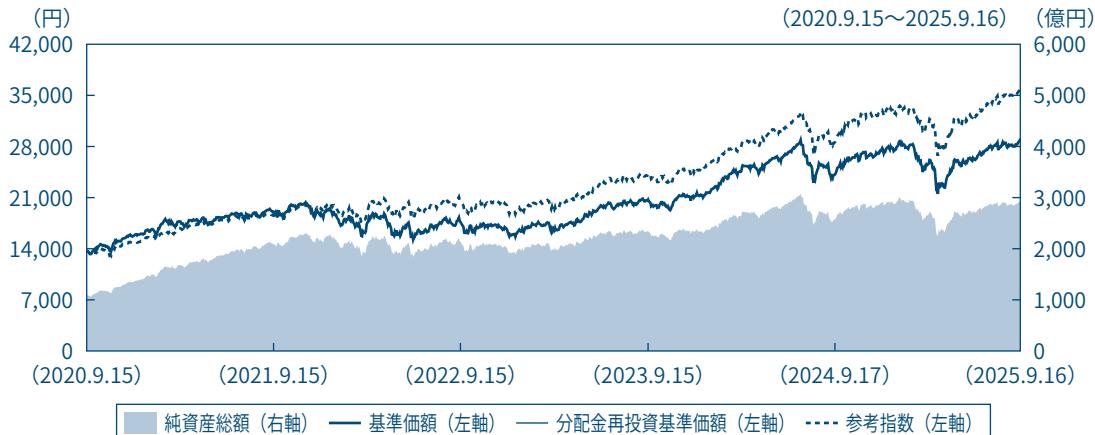
(注4) 参照指標は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

	2020年9月15日 決算日	2021年9月15日 決算日	2022年9月15日 決算日	2023年9月15日 決算日	2024年9月17日 決算日	2025年9月16日 決算日
基準価額（分配落） (円)	13,793	18,318	13,430	14,342	16,359	18,033
期間分配金合計（税引前） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	32.8	△26.7	6.8	14.1	10.2
参考指標騰落率 (%)	—	30.5	△10.9	14.5	22.1	19.5
純資産総額 (百万円)	63,811	139,296	103,111	96,684	79,470	71,526

(注) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

■最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年9月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

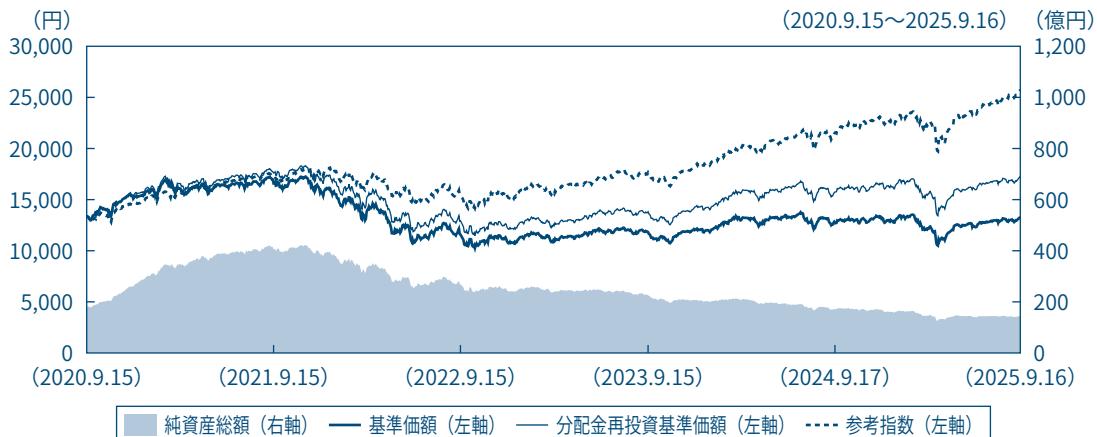
(注4) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

	2020年9月15日 決算日	2021年9月15日 決算日	2022年9月15日 決算日	2023年9月15日 決算日	2024年9月17日 決算日	2025年9月16日 決算日
基準価額（分配落） (円)	13,642	18,899	17,673	20,740	24,163	29,064
期間分配金合計（税引前） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	38.5	△ 6.5	17.4	16.5	20.3
参考指数騰落率 (%)	—	35.7	10.7	18.6	17.6	25.9
純資産総額 (百万円)	108,844	207,947	213,661	235,100	257,226	294,934

(注) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

■最近5年間の基準価額等の推移



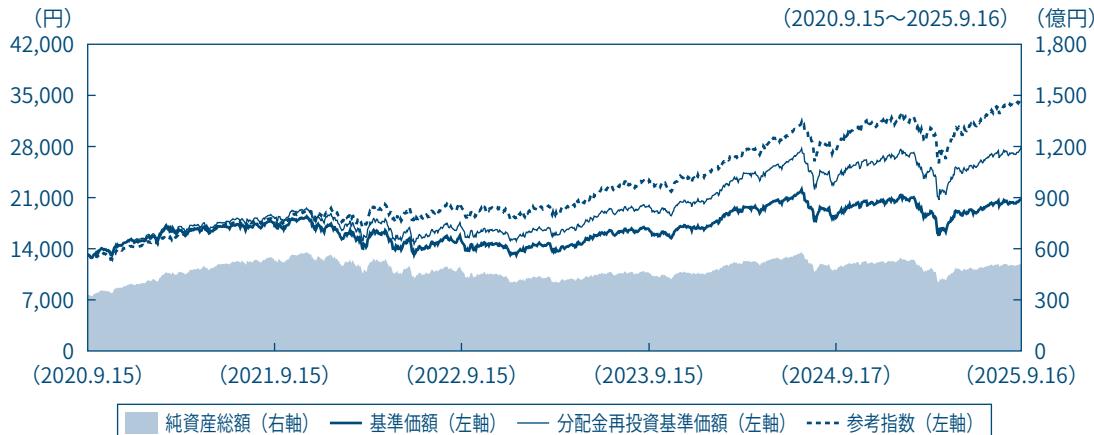
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年9月15日の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

	2020年9月15日 決算日	2021年9月15日 決算日	2022年9月15日 決算日	2023年9月15日 決算日	2024年9月17日 決算日	2025年9月16日 決算日
基準価額（分配落） (円)	13,261	16,589	11,574	11,824	12,692	13,147
期間分配金合計（税引前） (円)	—	500	230	300	390	390
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	32.8	△26.6	6.8	14.0	10.0
参考指数騰落率 (%)	—	30.5	△10.9	14.5	22.1	19.5
純資産総額 (百万円)	18,092	40,496	26,856	22,636	17,090	14,328

(注) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

■最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額および参考指標は、2020年9月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

(注4) 参考指標は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

	2020年9月15日 決算日	2021年9月15日 決算日	2022年9月15日 決算日	2023年9月15日 決算日	2024年9月17日 決算日	2025年9月16日 決算日
基準価額（分配落） (円)	13,119	17,096	15,042	16,625	18,236	20,650
期間分配金合計（税引前） (円)	—	520	440	490	590	600
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	38.5	△ 6.5	17.3	16.5	20.3
参考指標騰落率 (%)	—	35.7	10.7	18.6	17.6	25.9
純資産総額 (百万円)	32,836	52,809	47,280	45,833	47,334	50,914

(注) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。

Aコース～Dコース共通

■投資環境

(株式市場)

当期の世界の株式市場は、M S C I オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）でみて上昇しました。4月初めに米国による想定を上回る厳しい内容の相互関税の発表を受けて市場は急落したものの、その後に関税適用の一時停止が表明されたことから市場は反発しました。その後、米国と各国との貿易協議や関税合意の進展に加え、欧米で概ね良好な企業業績が確認されたことなどから市場は回復を続けました。期終盤は、米国の弱い雇用統計の発表を受けて米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げ期待が高まったうえ、8月下旬に米カンザスシティー連銀が開催した年次シンポジウム（ジャクソンホール会合）でパウエルF R B議長が、労働市場の先行き懸念などを背景に利下げ実施の可能性を示唆したことなどが好感され、市場は上昇して期末を迎えました。

(為替市場)

為替市場では海外主要通貨は円に対してまちまちの動きとなりました。米ドルは、相互関税の発表を受けて景気減速などが警戒され、下落しました。一方、ドイツが財政拡大に舵を切ったほか、欧州中央銀行（E C B）による利下げの一時停止などを背景に米ドルから選好がシフトしたユーロなど他の通貨は上昇しました。

■ポートフォリオについて

当ファンドはティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界各国の株式（エマージング・マーケット*も含みます。）の中で、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。また、Aコース／Cコースでは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの低減を図りました。

*エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。

<マザーファンド>

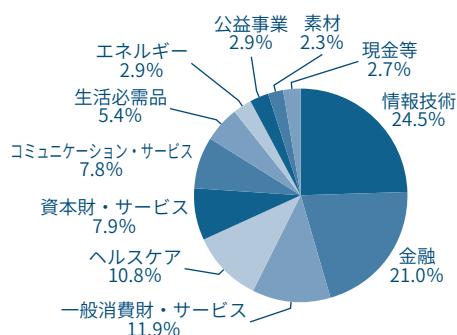
銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ^{*1}」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス^{*2}のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

*1ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

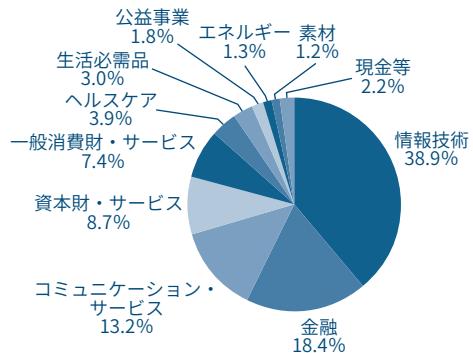
*2委託会社およびその関連会社をいいます。

その結果、当期成績における業種配分は、情報技術、金融、コミュニケーション・サービスが上位となりました。

マザーファンドの業種別組入比率
前作成期末（2025年3月17日）



当作成期末（2025年9月16日現在）



(注) ティー・ロウ・プライスは、業種分類の報告に世界産業分類基準（GICS）におけるセクターを使用しています。世界産業分類基準（GICS）は、MSCI Inc. (MSCI) およびStandard & Poor's Financial Services LLC (S&P) により開発された、MSCIおよびS&Pの独占的権利およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスに対し、その使用が許諾されたものです。MSCI、S&P、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者のいずれも、かかる基準および分類（並びにこれらの使用から得られる結果）に関し、明示黙示を問わず、一切の表明保証をなさず、これらの当事者は、かかる基準および分類に関し、その新規性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性についての一切の保証を、ここに明示的に排除します。上記のいずれをも制限することなく、MSCI、S&P、それらの関係会社、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者は、いかなる場合においても、直接、間接、特別、懲罰的、派生的損害その他一切の損害（逸失利益を含みます。）につき、かかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切の責任を負うものではありません。

個別銘柄では、エヌビディア（米国、情報技術）やアルファベット（米国、コミュニケーション・サービス）の組入を増やしたほか、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ（米国、情報技術）の組入を再開しました。一方、イーライリリー（米国、ヘルスケア）の組入を終了したほか、アマゾン・ドット・コム（米国、一般消費財・サービス）やチャールズ・シュワブ（米国、金融）の組入を減らしました。

株式の組入比率は当作成期間を通じて高い水準を維持しました。

■ベンチマークとの差異について

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



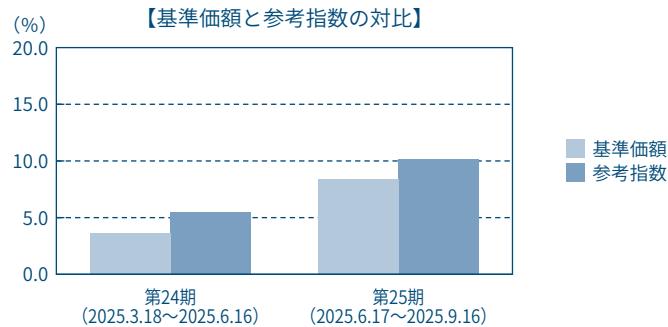
(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



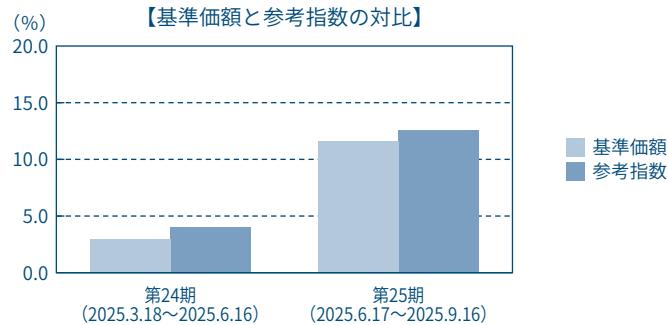
(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）**■分配金**

当期の分配金は、中長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。なお、留保益につきましては信託財産内に留保し、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年3月18日 ～2025年9月16日
当期分配金（税引前）	一円
対基準価額比率	一%
当期の収益	一円
当期の収益以外	一円
翌期継越分配対象額	8,032円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）**■分配金**

当期の分配金は、中長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきました。なお、留保益につきましては信託財産内に留保し、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年3月18日 ～2025年9月16日
当期分配金（税引前）	一円
対基準価額比率	一%
当期の収益	一円
当期の収益以外	一円
翌期継越分配対象額	19,063円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）**■分配金**

当分成期の1万口当たり分配金（税引前）は、基準価額水準・市況動向等を勘案し、下記表中の分配額とさせていただきました。なお、留保益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第24期	第25期
	2025年3月18日 ～2025年6月16日	2025年6月17日 ～2025年9月16日
当期分配金（税引前）	190円	200円
対基準価額比率	1.520%	1.498%
当期の収益	一円	一円
当期の収益以外	190円	200円
翌期繰越分配対象額	3,336円	3,162円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）**■分配金**

当分成期の1万口当たり分配金（税引前）は、基準価額水準・市況動向等を勘案し、下記表中の分配額とさせていただきました。なお、留保益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第24期	第25期
	2025年3月18日 ～2025年6月16日	2025年6月17日 ～2025年9月16日
当期分配金（税引前）	290円	310円
対基準価額比率	1.521%	1.479%
当期の収益	一円	310円
当期の収益以外	290円	一円
翌期繰越分配対象額	9,568円	10,650円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

2.今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にはほぼ全額投資する方針です。また、Aコース／Cコースでは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの低減を図ります。

＜マザーファンド＞

引き続き、規律あるファンダメンタルズ分析に基づき、個別の成長要因を有する銘柄をボトムアップで発掘するアプローチを継続します。常に変化を続ける市場において、「収益の改善」、「ハイクオリティ」、「バリュエーション」などに着目し、変化の正しい方向にあると確信できる企業に投資することに努めます。

3.お知らせ

下記の通り約款変更を行いました。

- ・運用報告書の電子交付について、投資信託及び投資法人に関する法律の改正に伴う記載の変更を行いました。 (2025年4月1日付け)

4.当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	原則として無期限（設定日：2019年5月28日）
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。
主要投資対象	ベビーファンド* 以下のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式 マザーファンド 世界各国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	主としてマザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式（エマージング・マーケット*も含みます。）の中で、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資を行います。 *エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。
分配方針	原則として毎計算期末（Aコース／Bコースは毎年3月、9月の各15日。Cコース／Dコースは毎年3月、6月、9月、12月の各15日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。なお、必ず分配を行うものではありません。

※ベビーファンドとは、ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）、ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）、ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）、ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）です。

5. (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

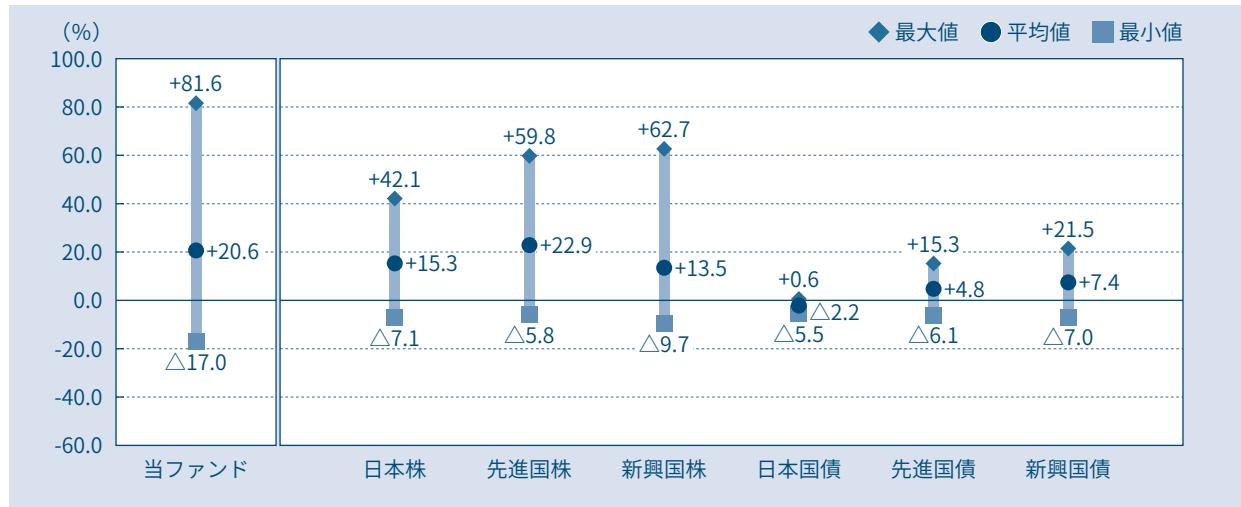
Aコース (資産成長型・為替ヘッジあり)

(2020年9月～2025年8月)



Bコース (資産成長型・為替ヘッジなし)

(2020年9月～2025年8月)



Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

(2020年9月～2025年8月)



Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

(2020年9月～2025年8月)



- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX（配当込み））

先進国株…MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BP国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

※騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

6.当ファンドのデータ

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

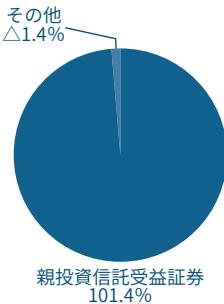
■当ファンドの組入資産の内容（2025年9月16日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

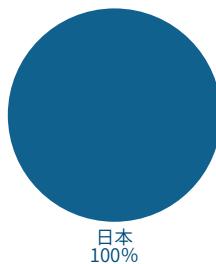
ファンド名	比率
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド	101.4%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

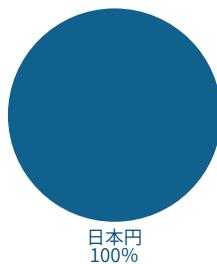
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 国・地域別配分は、発行国・地域を表示しております。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■純資産等

項目	第13期末
	2025年9月16日
純資産総額	71,526,545,333円
受益権総口数	39,664,328,184口
1万口当たり基準価額	18,033円

(注) 当期中における追加設定元本額は556,364,737円、同解約元本額は4,454,898,011円です。

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

■当ファンドの組入資産の内容（2025年9月16日現在）

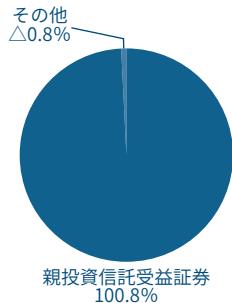
◆組入ファンド等

(組入ファンド数：1ファンド)

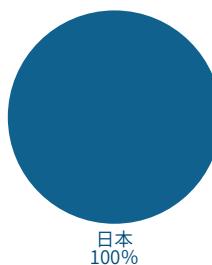
ファンド名	比率
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド	100.8%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

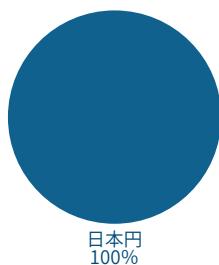
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 国・地域別配分は、発行国・地域を表示しております。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■純資産等

項目	第13期末
	2025年9月16日
純資産総額	294,934,993,772円
受益権総口数	101,478,884,141口
1万口当たり基準価額	29,064円

(注) 当期中における追加設定元本額は4,087,057,193円、同解約元本額は6,544,432,406円です。

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

■当ファンドの組入資産の内容（2025年9月16日現在）

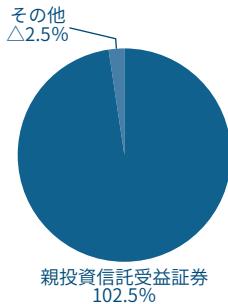
◆組入ファンド等

(組入ファンド数：1ファンド)

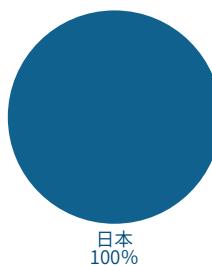
ファンド名	比率
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド	102.5%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

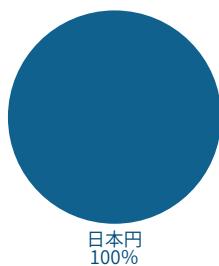
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 国・地域別配分は、発行国・地域を表示しております。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■純資産等

項目	第24期末	第25期末
	2025年6月16日	2025年9月16日
純資産総額	14,019,183,732円	14,328,623,072円
受益権総口数	11,386,335,975口	10,899,041,963口
1万口当たり基準価額	12,312円	13,147円

(注) 当作成期間（第24期～第25期）中における追加設定元本額は88,216,098円、同解約元本額は1,186,787,592円です。

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

■当ファンドの組入資産の内容（2025年9月16日現在）

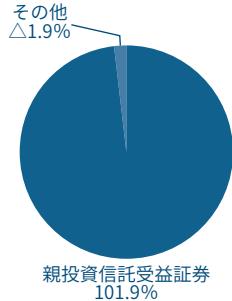
◆組入ファンド等

(組入ファンド数：1ファンド)

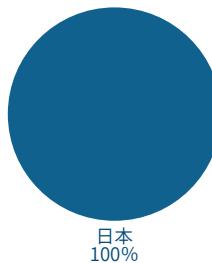
ファンド名	比率
ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド	101.9%

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

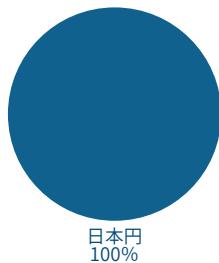
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 国・地域別配分は、発行国・地域を表示しております。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■純資産等

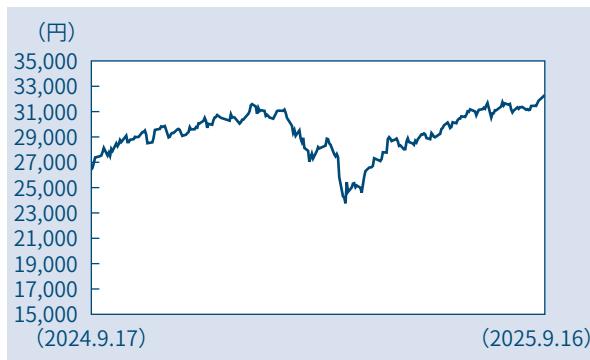
項目	第24期末	第25期末
	2025年6月16日	2025年9月16日
純資産総額	47,235,275,937円	50,914,436,259円
受益権総口数	25,152,220,414口	24,655,554,369口
1万口当たり基準価額	18,780円	20,650円

(注) 当作成期間（第24期～第25期）中における追加設定元本額は659,062,939円、同解約元本額は1,359,142,119円です。

7.組入上位ファンドの概要

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド (計算期間 2024年9月18日～2025年9月16日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

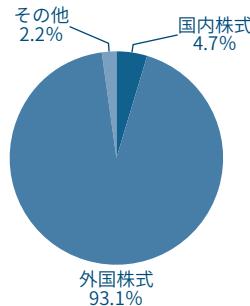
(組入銘柄数: 92)

銘柄名	通貨	比率
エヌビディア	米ドル	6.2%
マイクロソフト	米ドル	4.5
アルファベット	米ドル	3.4
ユニリーバ	英ポンド	3.0
アマゾン・ドット・コム	米ドル	2.7
台湾セミコンダクター	台湾ドル	2.6
アップル	米ドル	2.6
メタ・プラットフォームズ	米ドル	2.6
ブロードコム	米ドル	2.2
テンセント・ホールディングス	香港ドル	2.0

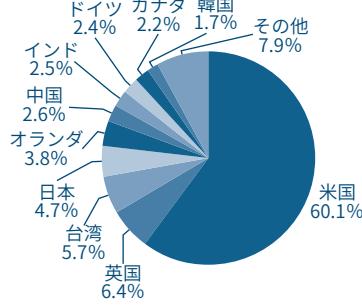
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	55円 (55) (0)	0.186% (0.186) (0.000)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	28 (4) (24)	0.097 (0.015) (0.082)
合計	83	0.283

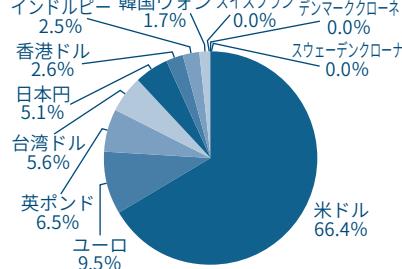
◆資産別配分



◆国・地域別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 項目の概要および注記については前記（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。国・地域別配分は、発行国・地域を表示しております。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国・地域別配分は、評価対象国・地域別に上位10カ国・地域まで表示し、11位以下はその他として表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指標について>

日本株 東証株価指数（TOPIX（配当込み））	東証株価指数（TOPIX（配当込み））は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。
先進国株 MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株 MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
日本国債 NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指標です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債 FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指標です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債 JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指標です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

<参考指標について>

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、世界の先進国・新興国の株式を対象として算出した指標です。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

T.RowePrice